

**平成30年度 被災者支援総合交付金 「心の復興」事業（第1回募集分）  
交付可能額（団体別）**

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
1	ちば広域避難者生きがい・やりがいのある暮らし応援プロジェクト	東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト	千葉県東葛地域に避難している1,000人を超える広域避難者が、避難先で生きがい、やりがいのある生活をし、将来的に帰還や生活再建につながることを目指して、支援活動を実施する。 (1)避難者の孤立防止、つながりづくり、避難者の生きがい・やりがいづくりを目的とした常設型の避難者交流サロン事業 (2)避難者の生活安定、生活再建、帰還を目的とした避難者交流・学習・相談支援事業 (3)風評被害、風化防止などを目的に、避難者の現状を伝える避難者情報発信事業 (4)避難者が自らの生きがい・やりがいづくりとして、サロンを開設・開催することを支援する研修会を実施する事業	千葉県東葛地域(松戸市・柏市・我孫子市・流山市・野田市)	11,410
2	被災高齢者の生きがい応援「まざっぺ広場」事業	NPO法人しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島	被災高齢者の多くが他者との交流の機会が乏しく、孤立した生活を送っている。こうした被災高齢者のための見守り活動と併せ、地域の集会所等を活用し、茶話会・料理教室・手仕事講座・交流会等を行う「まざっぺ広場」を年間40回開催する。また、こうした交流に場に地域の住民の方にも参加してもらい住民同士の交流につなげ、被災高齢者の孤立防止にもつなげる。	福島県郡山市内・いわき市内・福島市	3,500
3	被災地の記憶を伝える言葉を見出すためのプロジェクト	国立大学法人筑波大学	平成28,29年度の「心の復興」事業を「被災地の記憶を伝える言葉を見出すためのプロジェクト」として継承して、被災地内における地域文化の再活性化や世代間交流の創出に努める。 さらに30年度は、被災者が震災体験やそこから得た教訓について自ら語り交流できる機会を、避難先や全国の自然災害が懸念される地域において創出する。被災地内外において、災害から立ち上がって発言する被災者の姿をドキュメント映像等に記録して広く公開することによって、語り継ぐ言葉と未来に向けて生きる活力を被災地に取り戻し、地域間の交流と連携に支えられながら伝統文化芸能を次世代に継承することに繋げる。	福島県南相馬市・および同市市民の避難先である県外の地域等(東北方面・つくば市・東京都・神奈川県等)	3,499
4	オーガニックコットン畑を仲立ちとする被災者・避難者交流と自立促進事業	特定非営利活動法人ザ・ピープル	地震・津波の被災者、原発避難者、地域住民など、様々な思いを抱える人々にとって、交流や自立への後押しが求められる。本事業では、コットンや野菜を栽培する共通の農業体験や、収穫されたコットンや野菜を素材とする手仕事や食体験を通して、様々な立場にある人々が心理的なストレスを感じることなく生活できる社会づくりを目指す。	福島県いわき市小名浜地区(下神白団地/永崎団地)・双葉郡広野町・楡葉町・富岡町・南相馬市小高区・県外避難者居住地	3,709

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
5	参加・体験型の「心と体の健康」イベントを通じての地域活性化事業	一般社団法人PSJ	宮城県および岩手県の沿岸地域を主とする広域地域での、心と身体の健康プログラム／参加・体験型イベントの実施において、集まった方が積極的に参加できるイベントとしてダンスや体操、歌を取り入れ、子どもから高齢者まで広範囲にわたる参加者の生きがい作りや、世代間交流によるコミュニティの再生・創出に寄与する。	宮城県石巻市・登米市及び岩手県内等の広域	3,387
6	3.11伝えるプロジェクト	一般社団法人MMIX Lab(ミミックスラボ)	仙台市のあすと長町災害公営住宅第1,第2,第3での交流の場づくりとして住民主導で食や歌、アートワークショップなどを毎月1回伴走型で企画実施し、新たなコミュニティ構築につながる心の復興支援活動を行う。伴走型で行うことで、次世代復興支援リーダー人材育成につなげていく。10月には災害公営住宅近隣の商店街等とも連携した住民交流型復興支援活動も行う。	宮城県仙台市(あすと長町災害公営住宅1・2・3)、大崎市他	2,299
7	福島ー山形 空と土の交流広場事業2018	特定非営利活動法人青空保育たけの子	避難している人・留まっている人・帰還した人など立場の違いによる心の分断、父親の家族・地域との分断とそこから発生するストレス等の課題解消のため、福島から避難者の多い米沢市で以下を実施。 ①食農教室…親子で農業体験し、地元の人と交流。 ②母ちゃんの会福島&山形…福島と山形で避難するしない等立場の違う母親が気兼ねなく本音を語り合う交流会を開催。 ③父ちゃんの会…震災以降、引きこもっている中高年男性等に手作り遊具の作成など「父ちゃんの出番」を創り、社会と分断された男性の心のケアにつなげる。 ④ドキドキ自然発見…親子・友人でトレッキングやカヌーなどの自然体験をする。 ⑤ありがとうマルシェ…避難者や福島在住者、地域住民など様々な立場の方が出店する「ありがとうマルシェ」を開催し、新たなコミュニティづくりを目指す。	福島県福島市周辺地域(支援対象者居住地域)、山形県米沢市周辺地域(支援対象者居住地域及び事業実施地域)	3,232
8	ふくしまで歌おう!「土の歌」合唱団プロジェクト	特定非営利活動法人元気になるう福島	県内4カ所(福島市、南相馬市、いわき市、二本松市)の避難者による合唱団において、避難者、地域住民と併せて県外避難者の参加も募って、月2回程度の練習、専門家による指導機会の提供、成果発表のイベント開催等を行うことで、日々の合唱活動がより効果的な生きがいとなるよう、価値を高めていく。 広島生まれの作詞家・大木惇夫氏が浪江町で着想を得て作詞した楽曲「土の歌」を課題曲とし、活動の中心に据えることで、震災によってふるさとから離れざるを得なかった人々を繋ぎ、被災者としての体験に共通する思いを後世に継承することで、新たな生きがいとして、長引く避難生活に力強さを与えることを目指す。	福島県浪江町、いわき市、福島市、南相馬市、二本松市を中心とした福島県全域	3,442

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
9	H30年度にじいろぱれっと・心の復興	特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会(略称:SOAT)	<p>アートワークショップの開催及び指導者育成を実施することで、未来に希望が持てるようになっていくための生きがいつくり、地域に根差したコミュニティの構築と世代に関わらず地域の人たちが主体となって継続できる活動を目指す。</p> <p>①被災者の生きがいつくり…積木などを子どもたちに贈ることを目的として製作する ②被災者の心のケア…芸術に触れたり、手を動かして作品作りをこなうことにより、心の癒しにつながる ③支援者支援…支援者に作品の作り方等を指導することにより、発展的・持続的な支援につながる ④地域コミュニティづくり…地域の支援者やボランティアの参画により、交流のきっかけづくりとなる ⑤伝承文化の継承…活動内容に伝承文化等を取り入れることにより、伝承文化の継承につなげる 等</p>	岩手県、宮城県、福島	11,213
10	ふるさとと繋がる町民交流によるいきがい作り事業	特定非営利活動法人大熊町ふるさと応援隊	<p>震災から7年が経過する現在でも全町避難となっている大熊町民に対して、ふるさととの繋がりが及び町民同士の繋がりを維持することによるいきがい作りと、住民が主体となった将来的なまちづくりのきっかけになる事を目的として、以下の取組を実施する。</p> <p>①ふるさとの現状を知るための現地バス視察…大熊町民の主たる避難先であるいわき市、会津若松市、郡山市、相馬市などを発着として年間4回のバス視察を実施し、個人の一時帰宅だけでは把握できない町全体の様子を自身の目で見る機会を設ける。 ②ふるさとの現状を知るための集い…バス視察への参加が難しい町民に対して、バス視察や日々の活動で記録した写真や映像、情報を共有することでふるさとの今を伝える。前述の主たる避難先を開催地として年4回程度開催。</p>	福島県大熊町、いわき市、郡山市、会津若松市、相馬市などの大熊町民の避難先市町村	2,517
11	住民主体型生きがいサークル作り応援プロジェクト	一般社団法人 JAST(日本ソーシャルセラピストアカデミー)	<p>「昭和歌謡歌声プログラム」と「対話カフェ」をセットにしたワークショップを通して、住民の生きがいつくりの機会を創出する。さらに、自治会連絡会の設立支援・仮設住宅同窓会の開催・地域住民との親睦会開催などを通して、自治会力の強化をはかる。</p> <p>①住民主体での運営・参加型のワーク形式で、昭和歌謡歌声プログラムを開催する。 ②音楽ワーク終了後、対話カフェを開催。自らの物語を語り、聴き合うことにより、心の自浄作用が働き、相互理解が深まる。また、「お互い様・隣組」の在り方への再認識は、住民同士の相互扶助(ピアサポート)の重要な基盤となる。 ③ワークショップ終了後、自治会役員や現地支援員等と振り返りを行い、地域や自治会の特徴や抱える問題等を共有し、今後の自治会コミュニティ発展につなげるための検討会を開催する。</p>	宮城県名取市(閑上中央団地・美田園北復興住宅他)石巻市・東松島市(あおい団地他)・気仙沼市・女川町・南三陸町 福島県南相馬市(南町団地他)・いわき市(平団地他)・福島市・郡山市・会津若松市(年貢町団地他)・岩手県陸前高田市・大槌町・東京都(江東区東雲住宅他)・神奈川県	14,640
12	ふっくら布ぞうりの会による、布ぞうり作りを通したコミュニティ作り	一般社団法人あゆみ(ふっくら布ぞうりの会)	<p>気仙沼市、石巻市において、10回の布ぞうり講習会を実施し、純粋にものづくりを楽しみながらコミュニティづくりを図る。また、後日実施する布ぞうり勉強会への案内を行い、継続的な支援につなげていく。</p> <p>布ぞうり講習会に参加した方を対象に、陸前高田はなます会、南三陸ふっくら会&amp;石巻なごみ会(共同実施)、石巻たんぽぽ会、石巻にじいろ会、shere smile Nippon(東松島)の5チームで勉強会を月に2回実施する。布ぞうりの技術指導に加え、ふっくら布ぞうりの会の情報交換のためのスマートフォン、パソコンの使い方の指導も行き、コミュニケーションを活発にしていけるための場とする。</p>	宮城県 南三陸町・石巻市・東松島市・気仙沼市、岩手県 陸前高田市	2,989

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
13	『心の復興』支援プロジェクト ～語り継ぐ東日本大震災～	一般社団法人 三 月のひまわり	東日本大震災で被災した方々、ご家族を亡くされた方々の『生きがい』作りの創造と震災を風化させず、震災の体験・教訓を語り継ぐため、各分野の専門家によるワークショップや、被災地以外で震災を語り継ぐ絵本の朗読会を開催する。 被災地にて、家族を失った子どもたちの支援をしている団体施設や、仮設住宅などでの刺繍、朗読、童謡、太鼓ワークショップなどを開催し、コミュニケーションの場を提供していく。刺繍ワークショップで制作したものを朗読会の各会場に展示し、被災地の皆様が前を向いて歩む現在の姿を伝えていく。朗読会には、被災地より様々な方に参加してもらい体験談や教訓を伝えてもらう。	宮城県石巻市、南三陸町 東京都足立区、葛飾区 など	3,160
14	傾聴による被災者支援と人材養成	特定非営利活動法人 仙台傾聴の会	被災者が「傾聴」を学ぶことにより一歩でも前に進むための自立支援として、「傾聴ボランティア養成講座」を各地で開催し、被災者の生きがいづくりにつなげていく。県内各所へ出向き養成講座、基本講座を開催する。また、音楽療法に基づく傾聴カフェの開催や、傾聴ボランティアネットワークの形成に努める。	宮城県内全域、岩手県、福島県	5,595
15	多世代協働による『食づくり・ものづくり』ハッピープロジェクト	ハッピープロジェクト	被災者の方が、子ども・大学生・若者・高齢者・地域住民等、様々な世代と一緒に、共に汗をかき楽しみながら行う、多世代協働によるハーブ・農作物づくりや多世代交流会等の「多世代協働による食づくり」、多世代協働で育てたハーブを活用したアロマづくり等の「多世代協働によるものづくり」、などを実施する。	宮城県名取市(美田園仮設住宅ほか)・仙台市、福島県南相馬市(原町区南町災害公営住宅)・飯舘村、神奈川県横浜市	3,988
16	心と体の栄養復興プロジェクト	特定非営利活動法人 日本臨床研究支援ユニット	①災害公営住宅の集会所及び公民館等で、住民参加型の手芸教室及び料理教室等を設ける。学生ボランティアの参加、健康相談ブースの設置により、参加者同士の交流、社会的孤立リスクの高い者の参加を促す。 ②被災地域のスーパー店舗等で、簡易健康チェック及び健康相談ブースを設け、健康増進の啓発活動に加え、取組①の実施状況と学生ボランティアの学びを発表する場を設け、被災地内外での交流を促す。	福島県いわき市、郡山市、福島市、相馬市、会津若松市、宮城県岩沼市	3,481
17	ダンスで日本を元気に！中学生 Rising Sun Project2018	二十一世紀倶楽部	プロのダンスインストラクターが、被災地の中学校を訪問し、ダンスの基本から課題曲の振り付け、発表時のフォーメーションなどを丁寧に指導し、参加生徒との対話や交流を積極的に行う。生徒各自が練習できるよう、教材も自主制作し、参加生徒に配布する。 釜石市に建設されているラグビーワールドカップ2019の会場となる「釜石鶴住居スタジアム(仮称)」のオープニングイベントでのダンスパフォーマンス実現を目指し、地域の方々を巻き込みながら、地域の活性化、地域住民の交流の助けとなるよう努める。	岩手県釜石市、福島県	7,116

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
18	ひとの復興を後押しするプラットフォーム事業	みやぎジョネット	南三陸町にある団体事務所を開放するほか、災害公営住宅や行政区の集会所等を使用してサロンを開催する。仙台市内では公共施設や個人提供の場を利用して実施する。1日に2カ所ほど開催し、可能な限りひとり年複数回の参加ができるようにする。外に出られない人には、訪問サロンを行う。 サロンでは、ものづくり、個別相談、電話相談、町民文化祭にコラボ展示して行うサロン作品発表会、パソコンサロン、被災者が育てた野菜や獲った魚を使った料理教室、体操、唄や踊り等を実施する。	宮城県本吉郡南三陸町、町外仮設住宅やみなし仮設住宅のある宮城県内近隣市町(仙台市、登米市など)	15,289
19	避難者と避難受入地元住民との交流と協働による絆づくり	まちづくりNPO新町なみえ	二本松市内の農地を借上げ、東日本大震災及び原発事故により浪江町からの避難者及び同じ境遇の浪江町以外(飯舘村・富岡町・大熊町)の避難者で農業に興味のある人、帰還度農業により生活再建を計画している人を対象に、地元農家の実地指導を受けながら、地元農家との交流を図る。また、収穫した農作物を利用して収穫祭を開催し、地元民と避難者との交流・絆づくりを推進し、避難者の心のケアを健康障害の解消に努める。更に、余剰の野菜を浪江町の仮設店舗で販売し、帰還者との交流を図り、避難者の生きがいに資する。	二本松市・浪江町(実施場所 二本松市油井字石倉地内 石倉団地)	3,395
20	懐食・心のふるさと復興プロジェクト～地域の懐食(なつしよく)を活用した、コミュニティづくり(地域間、世代間交流)～	特定非営利活動法人 相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	昨年度、相双地区の住民の声を集め、地元文化に根差した料理の懐食(なつしよく)レシピ集や紙芝居を作成した。今年度は、その記録をさらに活用して地域住民の相互交流(地域間、世代間)を図り、体験を共にすることで心の回復を促進することを目的とする。 保育園や復興公営住宅、チャレンジクラブ(震災が関連し、就労することが困難な引きこもりの方の日中活動の場)、男性のつどい(孤立した中高年男性)などの活動や、地域のサロン等でレシピの再現をするように調理実習を行うなど、世代間交流のきっかけとする。	福島県 南相馬市 相馬市新地町 飯舘村 浪江町 双葉町	1,001
21	交流促進による生きがいきづくりと情報共有の復興まちづくりプロジェクト	特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン	被災地である宮城県南三陸町と、沿岸部から4,195人の被災移住者受け入れを行っている宮城県登米市において、日常からの継続的な交流の機会を創出し、被災地で不足している地域暮らし情報の交換により、小さなつながりを増やし、被災住民の心の負担軽減と孤立化を防ぐ。 子どもから年配者までが日常の中で参加でき、世代間交流と社会参加が自然な形で促進されるように、手創り交流市やワークショップ、農作収穫物による味噌づくり体験交流会等の開催と、被災者の暮らしを支える暮らし情報共有を促進し、復興に向けた取り組みとする。	宮城県本吉郡南三陸町、宮城県登米市	3,499

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
22	東日本大震災からの復興のための移動コミュニティバス事業	一般社団法人チーム王冠	<p>津波などの被災地域で集会場を失った理由で住民交流の機会が減少している地区にお茶っこバスで訪問する。</p> <p>サロン形式のバスで、住民主体で交流会(お茶っこ)を開催。住民間の情報交換や地域のこと話が話し合われる。</p> <p>初めて訪れる場所では自然と震災当時の話題を吐き出すように話される(心のケア)。そういった時間を過ごすことで復興関連情報、日常生活の話題へと移っていく。こういったプロセスを経て、地区の将来を語ったり、ただおしゃべりを楽しむようになる。</p> <p>月日が経って、仮設から地区に帰ってくる方や、新しく出来た復興住宅に来た人などが参加するようになる。お茶っこバスへの参加をきっかけに地域住民の絆が生まれ、その後は地域での自立した生活やご近所づきあいに繋げる。</p>	宮城県石巻市、東松島市、女川町、山元町、亘理町	10,796
23	みんなの街はみんなが創る！ともい(共育)プロジェクト	一般社団法人プレーワーカーズ	<p>被災者が主体的に話し合う場を創出し、復興に向けた街づくりを「じぶんごと化」していく文化を作る。また「じぶんごと化」した様々な年齢や属性の地域におけるリーダーの発見発掘を行う。</p> <p>①被災した仮設・公営住宅・みなし住宅・移住者・地域住民向けの座談会及びヒアリングを行う。</p> <p>②被災者自らが【企画・運営】する座談会及びヒアリングのための会議及び研修、補助。</p> <p>③座談会及びヒアリングの内容を被災者、市担当部局、支援団体と定期的に意見交換するための調整会議を実施。</p> <p>④被災者自らが企画した、これからのまちづくり・復興に必要な参考及び実践に役立つ冊子の発行。</p>	宮城県気仙沼市、石巻市	3,500
24	災害公営住宅とNPO等の連携による復興コミュニティデザインの実践	特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町	<p>①盛岡市の入居開始直後並びに計画の中の内陸災害公営住宅において集会所が有効なコミュニティ形成の拠点となるよう、各住宅の整備段階に応じた支援を行う。具体的には、平成30年度中に入居が完了する備後第1アパートにおいて、主にソフト面を中心に、集会所の利用しやすさを向上するための学習会を2回、検討WSを3回程度開催する。計画中の青山南アパートにおいては、集会所の利用イメージなどを共有しながら計画に反映できるよう、計画検討会を2回程度開催し、設計者のURに提案する。</p> <p>②福島県南相馬市では原子力災害避難者特有の課題を抱える災害公営住宅を対象に、試行的コモンミールを行い、居住者の交流促進と居場所づくりを支援する。具体的には、清掃活動と連動した南相馬版モーニングカフェを5回程度開催し、現地での自立開催への移行を目指す。</p>	岩手県盛岡市(備後第1アパート・青山南アパート)、福島県南相馬市(南町団地他)	2,040
25	福島県浜通りから「音楽」で元気を発信プロジェクト	南相馬&杉並トモダチプロジェクト	<p>①南相馬市で、毎週1回のボイストレーニングやダンスレッスンを開催する。オリジナルの楽曲を、子ども同士で制作し、レベルに合わせたレッスンを重ね、数か月に一度の割合で、ステージ発表などを行う。いわき市内でも同様のレッスンを月1回のペースで開催する。</p> <p>②また、震災後共にレッスンを重ねてきた東京都杉並区のクラスと連携を図り、年に一度、各地域のレッスン生を一堂に会し、成果発表会の講演を開催。演目では、いわき市や南相馬市近隣地域の人々との交流も得て、浜通り地域の特色を生かしたオリジナル楽曲を制作し、音楽を通じて浜通り地域の魅力を発信する狙いもある。この公演に向けて南相馬を中心とした地域住民の方々が、ひとつのコミュニティーを形成し、ひとつになっていく過程を共有する。</p>	福島県南相馬市、いわき市、富岡町、ほか東京都	3,248

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
26	ふくしまコミュニティ再生～力を発揮出来る場・繋がる場「みんなの家」～	特定非営利活動法人ビーンズふくしま復興交流拠点みんなの家セカンド	①避難してきた人と地元住民が繋がるプロジェクト～繋がる・続けるふくしまコミュニティ～ ・みなし仮設住宅に住んでいる双葉郡の母親と福島との交流会、 ・復興公営住宅の子ども、子育て世代、住民へのアウトリーチ支援 ・仮設住宅や復興公営住宅の住民と地元住民との交流会 ②福島⇄避難先 心と思い出が繋がるプロジェクト ・県外に避難している方と避難先から戻って来た方との交流会 ・家族が県外に避難したり、避難先から戻って来た父親向けの交流会	福島県福島市、伊達市、郡山市、飯館村飯野町団地、笹谷復興公営住宅、北沢又復興公営住宅、東京都、山形県、秋田県、京都府 他	14,705
27	困難を抱え孤立する被災者の文化活動を通じた生きがいづくりと交流事業によるコミュニティづくり	特定非営利活動法人マザーリンク・ジャパン	被災し困難を抱えるようになった子育て世帯の孤立の解決と当事者や年配者の生きがいづくり、外部ボランティアを巻き込んだ風化防止の3点を目的とする。モノづくりや音楽体験、交流会などを通して子育て世代とそれを支えようという地域住民が集える居場所づくり、心をいやせるコミュニティをつくり、心の復興に繋げる(モノづくりワークショップ:3回/月、音楽ワークショップ:3回/月、交流食事会:年10回)。 地元住民や地域外の人にもボランティアで参加して貰えるようにすることで、風化を防ぐことにも繋がりたい。モノづくりでは当事者が主体的に企画から関わられるように工夫する。	陸前高田、大船渡、気仙沼	12,150
28	首都圏・広域避難者の自主的な『活力増進と風化防止』プロジェクト	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	①県外避難者が今後の生活に向けてそれぞれの課題に対応するための活力を引き出すことを目的に、各種教室(生け花、楽器演奏、コーラス、絵画造形、等)での学びや、楽器演奏・コーラス教室の発表会を交えたコミュニティ支援交流会での仲間づくりと情報共有の機会を支援する。 ②小学校や地域での語りべ活動により、震災の体験を社会へ生かすことへの意義と生きがいを得ている。この風化防止の活動を「復興文化」と位置づけ、地域住民への情報発信を広げるため、一般市民に向けた冊子作成の制作委員会を避難者、支援者を交えて発足。震災の経験を教訓として生かす活動を更に展開する。	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県	16,710
29	まちかどものづくりプロジェクト	合同会社コミュ	被災地域の住民と、孤立しがちな高齢者がまちに出てくるきっかけとなるような居場所(ベンチなど)をつくるためのものづくりワークショップ活動を、移転地周辺のまちかどで延べ20回実施し、元々の地域コミュニティ、自立再建の方、公営住宅居住者の交流を促す。	宮城県東松島市・石巻市・女川町	4,992
30	ふるさとを離れた被災者の葛藤と苦悩に寄り添う	一般社団法人 宮城県社会福祉士会(宮城県サポートセンター支援事務所)	ふるさとを離れて広域避難する被災者の声を拾い、言語化することで、被災者の孤立感の軽減及び自立を促し心の復興を図る。	岩手県 東京都 愛知県 大阪府 福岡県	3,477

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
31	被災地の高校生が発信する福島復興ロードマップ作成事業	特定非営利活動法人ハッピーロードネット	地域の放射線問題に対して適正な理解ができる環境作りを目指し、地域の高校生達が、チェルノブイリ原発事故に係る原子力被災対応の先進地であるベラルーシの専門家等とのディスカッションや、ベラルーシ及び全国の高校生を交えた、被災地の課題に関するワークショップなどを実施し、放射線のリスクコミュニケーションの問題への対応を始め、福島復興に何が必要か、まず何ができるか等を自発的・科学的に考え、福島復興のロードマップを作成し、広く発信する。	福島県	7,371
32	被災者の主体性醸成による地域コミュニティ支援	特定非営利活動法人いわて連携復興センター	①災害公営住宅入居者によるコミュニティ形成と生きがいつくり支援 ・災害公営住宅における顔合わせ及び、自治組織設立・運営支援 ・災害公営住宅入居者による自主行事等の開催支援 ・調査と調査結果の共有(コミュニティの状態を調査し、本事業の効果向上と改善に役立てるほか、結果を自治会等の地域運営組織と共有して、コミュニティ活動を入居者主体で長期的に行うための実践力強化方策の検討機会とする。) ②コミュニティ活動の実践力強化を通じた心身のケアと情報発信 ・自治会役員等の情報交換・交流会 ・地域行事開催支援 ・住民主体の取組支援と呼応隆人口増加の取組 ・拡大コミュニティの形成と情報発信(報告会開催や写真・映像等による被災者の現状や課題を発信し、被災地へ関わる人の増加を図る。)	岩手県、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、宮城県、気仙沼市、仙台市	9,909
33	復興祈念公園予定地を軸とした後世への震災伝承	公益社団法人みらいサポート石巻	被災者自らが生きがいを感じながら語り部として震災を伝承する機会を創出し、宮城県で唯一、国・県・市が関わる復興祈念公園が設置予定の石巻市において、震災の記録や避難の教訓、街の記憶を聞き取り、共有することで、離散した住民の、失われた地域や時間とのつながりを回復すると共に、東日本大震災の記憶や教訓を後世へと伝承する。 岩手・福島の祈念公園予定地との意見交換。共有を通じ、将来にわたり被災者主体の組織が連携しながら伝承活動を継続可能な体制につなげる。	石巻市、岩手県、福島県祈念公園予定地	7,709
34	「千年希望の丘」岩沼復興アグリツーリズム[被災者対象]	インフォコム株式会社 岩沼「みんなの家」事業所	宮城県岩沼市の多重防衛のひとつであり復興のシンボルでもある「千年希望の丘」の植樹や育樹、被災沿岸地域での農業体験とコミュニティー施設「岩沼みんなの家」での産地直売や6次産業化、農作物を使った交流イベントやものづくりワークショップ・震災語り部の開催を通じて、集団移転地や被災沿岸地区住民等の被災者を対象とした心身のケアと生きがいつくりを行い、被災地域コミュニティの再構築を図る。	宮城県岩沼市	3,500
35	写真で暮らしにうるおいを“フォトノマキフェスティバル”	くらしのある家プロジェクト実行委員会	くらしの「今」を写真を通して記録し、地域ならではの魅力を抽出することで、新しい未来のまちづくりと復興に貢献することを目的に、一般からの対象地域の写真公募、5名の著名写真家による撮りおろしと仮設住宅住民を対象としたワークショップや、街中15カ所における写真展示等を実施。 宮城県、福島県を中心に広く写真公募を行うとともに、著名写真家と一緒にくらしの「今」を残す写真撮影をするワークショップを開催し、被災者の方に参加していただき、外に出る機会を増やし、世代を超えた参加者達との新たな交流もでき、生きがいつくりにつなげる。	福島県、宮城県	3,779

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
36	「めだかの学校と若竹農園」の学びを通じたコミュニティ支援事業	特定非営利活動法人まあむたかた	<p>①一人ひとりの持つ力を引き出しながら活かし、「ものづくり」から「生きがいづくり」への自立、人とつながる機会を生み出す活動の場作り、楽しく学びながら仲間や情報交換のための憩いの場を提供する。ものづくりの様々な政策過程でのお互いの知恵や工夫を共有し、意欲的に取り組むことにより、心の豊かさや生きがい、普段から声掛けができる地域コミュニティの形成が図れる環境を目的とする。</p> <p>②農地を利用して自家用野菜の花の栽培を通じた生きがいを生み出す。収穫後は子どもたちの長期休み中にコミュニティ食堂として提供していく。</p>	岩手県陸前高田市及び近隣市町村	3,500
37	避難親子の居場所・生きがいづくり事業	特定非営利活動法人こどもプロジェクト	<p>①東日本大震災で被災し県外避難した親子に対して、常設の居場所(東京都杉並区)での交流や、福島県から長野県上田市に移住した有機農家の野菜を使った食育を行う。また、ものづくりなど参加型のセミナーや、被災者自らが企画する料理教室などのイベントを随時開催し、地域コミュニティをつくる。</p> <p>②被災親子の子育てを応援する出張ママCAFEを東京都、長野県上田市で開催し、自然体験、食育講座、健康相談を行う。</p>	東京都、福島県、宮城県、岩手県、長野県	14,693
38	第4回被災地アートイベント 3・11アートファンタジア2018 石巻・東松島・仙台	花とアートで再生復興プロジェクト委員会事務局(株)スペースクリエイティブ	<p>石巻市・東松島市・仙台市の3市で、以下のアートイベント・ワークショップ・被災者で組織された実行委員会連携の企画・運営によるシンポジウムを開催</p> <p>①大きなロール紙に大きな花アートを描き、その展示発表を実行委員会(被災者)たちで行う。また、クラフトバンドワークショップ、アクセサリーワークショップ、陶芸ワークショップ、ちぎり絵ワークショップ等を行う。</p> <p>②野蒜海岸の砂浜のオープンに合わせ、復興を祈る砂像の協働製作と、その周辺地域の子供たちによるサンドアートワークショップを実施。</p> <p>③石巻市と東松島市の被災者で組織された実行委員会連携の企画運営によるシンポジウムを開催し、3・11津波被害の風化を防止するために被災者自らが地域内外に呼びかけ、発信する。</p>	宮城県 石巻市 東松島市 仙台市	15,596

※No.1～No.36については、4月26日交付可能額通知発出  
※No.37～No.38については、5月24日交付可能額通知発出